

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Yくまーず未来Kazaoka津島		
○保護者評価実施期間	R6年 10月 7日		R6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R6年 10月 4日		R6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 11月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用人数が多いことから子どもの多様性を感じることが出来ません	活動をいくつかの小グループに分けて実施し、個々の特性を發揮しやすいような支援を実施しています	個別な関わりなどを増やす環境を作り、より子供の特性を理解することで成長・発達を促していきます
2	専門職が在籍している	専門的な視点からの考え方や支援方法などを職員間で共有しています	職員間で勉強会や外部から講師を招き研修会などを実施していきます
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数に対して部屋の大きさが満足とは考えておらず、家族の方などが一緒に参加する機会などを設定することが難しい現状です	家族との協力関係を高めるために個別に連携を深めていく関わりは実施していますが、家族同士の関わりを持つ機会(イベント)などを準備することが出来ていません。立地や広さなど条件に合う場所を探していきたいと思えます	家族のニーズなどを把握し、目的や不安の種類によつて的確な支援を実施できるよう職員で情報共有を進めていきたいと思えます
2	事業所で行っている支援の様子が理解されにくい	保護者へHUGを利用して利用した当日の記録を伝えていますが、支援時の声掛けや促し方など細かな部分は文章や写真のみでは伝えきることが出来ないと考えています	保護者の方を事業所に招き実際の支援の場面などを見学してもらったり、動画で記録して紹介するなどわかりやすい方法を模索していきます
3			